

令和7年度横浜市病院協会事業報告

1 医師の働き方改革対策（公益事業）

- (1) 地域医療検討会（市内7方面別）の枠組みを活用し、医師の労働時間の管理や、時間短縮、タスクシフトの状況等について、情報交換を行った。
- (2) 医師の働き方改革施行後の救急医療を始めとする地域医療への影響などを注視しながら、必要に応じて会員病院への支援などを検討した。

2 新型コロナウイルス等感染症対策(公益事業)

- (1) 熱中症と新型コロナ等の増加時に会員病院に救急医療と新型コロナ対応等との両立への協力依頼を行うなど、地域医療の機能維持・確保に取り組んだ。
- (2) 地域医療検討会の機会を活用し、5類感染症移行後の各病院の感染防止対策等について情報交換を行った。

3 救急医療対策(公益事業)

- (1) 二次救急の拠点病院方式を中心とした横浜市救急医療体制に基づき、事業の円滑な運営と、救急応需促進のため積極的に取り組んだ。

二次救急医療に対応する各病院の構成区分は、拠点病院Aが11病院、拠点病院Bが12病院、合わせて23病院、輪番参加病院数は28病院となっている。

加えて、病院協会として二次輪番（内科・外科・小児科）当番日の設定や変更にかかる必要な調整、とりまとめを行い、救急実績を集約して市に報告した。

救急応需実績は、拠点A及び小児救急拠点はいずれも2023年度をピークに、拠点Bと病院群輪番制は2024年度をピークに微減となっている。

今後、高齢者の増加による救急医療需要の更なる増加が見込まれる中で、行政と病院現場とを繋ぎ、持続可能な救急医療体制の構築に取り組んでいく。

| 年度 | 二次救急拠点A（人） | | | 二次救急拠点B（人） | | |
|------|------------|--------|---------|------------|--------|--------|
| | 救急車 | 救急車以外 | 合計 | 救急車 | 救急車以外 | 合計 |
| 2025 | 57,841 | 52,143 | 109,984 | 33,221 | 28,818 | 62,039 |
| 2024 | 58,034 | 57,828 | 115,889 | 35,329 | 31,080 | 66,409 |
| 2023 | 61,663 | 60,385 | 122,048 | 34,921 | 30,798 | 65,710 |
| 2022 | 56,490 | 57,701 | 114,191 | 32,038 | 30,556 | 62,594 |
| 2021 | 50,343 | 54,216 | 104,559 | 29,162 | 29,739 | 58,901 |

| 年度 | 病院群輪番制（人）※ | | | 小児救急拠点 | | |
|------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 救急車 | 救急車以外 | 合計 | 救急車 | 救急車以外 | 合計 |
| 2025 | 23,024 | 31,070 | 54,094 | 7,210 | 13,754 | 20,964 |
| 2024 | 23,440 | 31,795 | 55,235 | 8,254 | 16,906 | 25,160 |
| 2023 | 22,411 | 33,289 | 55,700 | 10,762 | 18,371 | 29,133 |
| 2022 | 17,422 | 28,861 | 46,283 | 9,560 | 16,034 | 25,594 |
| 2021 | 16,767 | 28,216 | 44,983 | 6,554 | 12,403 | 18,957 |

※病院群輪番制の実績は内科、外科、小児科の合計

- (2) 令和7年度外国籍市民救急医療対策費補助事業の実施について横浜市医療局からの依頼により対象医療機関49病院への周知及び資料配信とともに申請に向けた案内等を通じて支援した。
- (3) 傷病者情報共有システム（以下、「システム」という）の導入に向け、横浜市医療局及び消防局からの依頼に応え、次の事項について行政と対象医療機関とを繋ぎ、情報提供や各種調査及び補助申請等の支援などを行った。
- ア. システムの導入に向けた説明会案内の送付について、二次救急医療体制参加医療機関58病院に対して開催周知を行った。また、欠席医療機関に対する資料送付や動画配信の周知を行うなど、対象医療機関の支援。
- イ. システム備品整備補助金について、二次救急医療体制参加医療機関58病院に対する事業の周知や資料配信を行い、補助申請に向けた支援。
- ウ. システム運用に係るアカウントの発行にあたり、導入する病院が必要なアカウント数の調査。
- エ. 傷病者情報共有システム運用開始に伴う通知や初期障害発生時の対応等についての周知。
- (4) 横浜市病院群輪番制事業の中に新設された「後方搬送受入病院」について、横浜市からの依頼により対象となる病院へ要綱や申込書類の配信を行い、病院間連携の一層の促進に向け、参加申込み等を

支援した。

- (5) 2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)の医療救護体制について、基本計画の策定に医療救護協議会として関わり、医療救護体制の構築に向け、できる範囲で協力していくこととした。

4 災害時医療対策(公益事業)

- (1) 横浜市の災害医療連絡会議及に参画し、災害時医療に対応する連携体制の確保を図った。
- (2) 各区に設置された災害医療連絡会議に会員病院が参加し、協議及び意見交換を行った。
- (3) 横浜市病院協会として、横浜市防災会議のメンバーに加わり横浜市における防災上の課題解決に取り組んだ。
- (4) 横浜市病院協会の会員が横浜市災害医療アドバイザーとして参画した。
- (5) 横浜市医師会災害対策事業部会へ参画し、協議及び意見交換を行った。

5 医療情報の収集、発信及び広報(公益事業)

- (1) 協会のホームページ「ヨコハマ医療の扉」の効果的、円滑な運用に努めた。
[ホームページ運用状況]
ホームページアクセス数： 66,007件(180件/日)
- (2) 医療・保健・福祉に関する情報を随時、会員病院に提供した。

6 地域医療連携の推進(公益事業)

- (1) 横浜市医師会など医療関係団体との連携を強化する等、地域医療体制の充実向上を図った。
- (2) 地域医療検討会(市内7方面別)を開催し、各医療機関間の情報共有や意見交換を行った。
開催回数：14回(臨時開催含む) 参加医療機関：延252病院
なお、「地域医療連携等に係る意見交換会」は開催されなかった。

7 行政、医療機関団体等との連携強化及び政策提言(公益事業)

- (1) 令和8年度横浜市予算編成についての要望書を提出した。
また、横浜市会に対しても4会派の政策懇談会やヒアリングに役員が出席し、病院経営の現状・課題、要望内容について直接要望し、共通認識を醸成した。
- (2) 横浜市医師会長との連名で、横浜市会へ「病院をはじめとする医療機関の経営改善のための速やかな支援等について」請願を

- 提出し、全会一致で可決され、国への意見書提出につなげた。
- (3) 横浜市保健医療協議会に参画し、医療行政に対して必要な提言や要望を行った。
 - (4) 地域医療構想調整会議に参加し、市内7方面での地域医療検討会の状況を報告し、それらを踏まえて協会としての意見の反映に努めた。
 - (5) 横浜市の方面別検討会「医療介護 WG」に会員病院が参画し、意見交換を行った。
 - (6) 横浜市医療安全推進協議会に参画し、横浜市の医療安全窓口との連携強化を図った。
 - (7) 横浜市の各種委員会（認知症施策検討会、人生の最終段階の医療等に関する検討会、医療的ケア児・者等支援検討委員会等）に参画し、施策の検討等を行った。
 - (8) 横浜市医師会の地域医療事業部会、医療福祉事業部会、地域包括ケアシステム部会、勤務医事業部会において議論に加わりとともに、各夜間急病センター運営委員会に参画し、地域医療向上に向けた研究、検討を行った。
 - (9) 県立病院機構、市立大学病院等公的病院の運営に係る委員会・幹事会に参加した。

8 学術研究、講演会及び研修会開催(公益事業)

下記の講演会・研修会を開催した。

- (1) 第26回学術講演会
開催日（ライブ配信）
令和8年2月10日（火）16時～17時30分
オンデマンド配信
令和8年2月24日（火）～3月9日（月）
テーマ：「災害時の対応～病院運営で何が問題で何をするのか～」
講師：地方独立行政法人神奈川県立病院機構
理事長 阿南 英明 氏
参加者：ライブ配信61人、録画配信再生回数184回
- (2) 市民講演会
開催日：令和8年2月17日（火）14時15分～15時45分
テーマ：「带状疱疹を正しく知って、早く気づいて、
しっかり予防を！」
講師：横浜総合病院
皮膚科部長 鈴木 琢 氏
参加者：119人
- (3) 医療安全研修会（横浜市、横浜市医師会等との共催）

第1回 令和7年8月1日(木) 19時～20時
テーマ「これで解決！医療クレーム対応・発展編
～事例から身につけるペイシエントハラスメントへの対応術～」

第2回 動画公開期間
令和8年2月28日(金)～4月30日(水)
テーマ「大規模地震を想定した医療機関における備え
～能登半島地震被災地支援での体験を踏まえて～」

(4) 横浜市看護職員認知症対応力向上研修(オンライン開催)
研修修了者：81人

9 医療従事者の確保、定着促進(公益事業)

- (1) 医師の働き方改革について、地域医療検討会(市内7方面別)の枠組みを活用して意見交換を行った。(再掲)
- (2) 看護専門学校对学生に対して、会員病院による病院説明会を開催した。

開催日：令和8年3月12日(木)

参加病院：46病院

※各病院の奨学金制度、就職に向けた受け入れ希望病院等の情報提供を実施

10 看護専門学校の運営

新カリキュラムの教育理念・目的・目標が学生・教員に浸透し、着実に運用されている。また、ICTを活用した学習環境が整備され、電子教科書やタブレット端末を活用した授業が定着している。一方、近年進歩の著しいAI技術については、学生の自ら考え、表現する力を育むために、利活用に関するルールを明確化していく必要がある。

直近の看護師国家試験の受験結果は合格率が95.5%、就職者等のうち市内医療機関への就職率は95%となった。令和8年度入学希望者への学校説明会等は前年度と同様の日程で開催したが、受験者数は昨年度より約2割減少し、入学者数は59名と定員の73%にとどまった。教育環境については、設置基準やバリアフリーへの適合を維持しつつ、これまで進めてきた施設、設備の改修を踏まえて、教育に必要な環境の充実をはかっている。

(1) 学生数

| 学 生 | 在籍者数 (令和7年4月1日) | 退学者数 | 原級 留置者数 | 進級又は卒業生 (令和8年3月末) |
|------|--------------------|---------|------------|----------------------|
| 1 学年 | 84人(12人) | 3 人(0人) | 1 人(1人) | 81人(11人) |
| 2 学年 | 82人(5 人) | 3 人(0人) | 8人(1人) | 79人(4 人) |
| 3 学年 | 64人(13人) | 2人(2人) | 0人(0人) | 卒業生62人(11人) |
| 総 数 | 230人(30人) | 8人(2人) | 9人(2人) | 222人(26人) |

() 内は内数で男性数

(2) 令和8年度入学者試験結果

| 受験区分 | | 試験日 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | |
|----------|-------|------------|------------|-----|-----|----|
| 特別 入試 | 社会人推薦 | 令和7年9月6日 | 13 | 12 | 12 | |
| | 高校生 | 指定校 | 令和7年10月18日 | 12 | 12 | 12 |
| | | 公募校 | | 5 | 5 | 5 |
| | 学 士 | 1 | | 1 | 1 | |
| | 社会人 | 14 | | 12 | 11 | |
| 一般 入試 | 第Ⅰ期 | 令和7年11月22日 | | 18 | 18 | 13 |
| | 第Ⅱ期 | 令和8年1月31日 | 7 | 7 | 4 | |
| | 第Ⅲ期 | 令和8年2月21日 | 1 | 1 | 1 | |
| 計 | | | 71人 | 68人 | 59人 | |

(3) 第29回卒業生(令和8年3月卒業)の就職状況

| 病院への就職 | | 進 学 | その他 | 卒業生合計 |
|--------|------|-----|-----|-------|
| 横浜市内 | 横浜市外 | | | |
| 56人 | 2人 | 1人 | 3人 | 62人 |

(4) 第115回国家試験受験結果

(試験日:令和8年2月15日 合格発表:同年3月24日)

| 区 分 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 | (参考) 全国平均 |
|-----|------|------|-------|-----------|
| 新卒者 | 62人 | 59人 | 95.2% | 94.1% |
| 既卒者 | 2人 | 0人 | 0% | 32.3% |
| 合計 | 64人 | 59人 | 92.2% | 88.3% |

(5) 主な学校行事

| 年月日 | 行事名 | 人数 |
|--------------|--------------------|---------|
| 令和7年4月8日(火) | 第31回入学式(1年生79人) | |
| 5月24日(土) | 第1回学校説明会 | 参加者 26人 |
| 5月27日(火) | 第30回宣誓式(2年生71人) | |
| 6月7日(土) | 第2回学校説明会 | 参加者 38人 |
| 6月21日(土) | 第3回学校説明会 | 参加者 26人 |
| 7月26日(土) | 第4回学校説明会 | 参加者 74人 |
| 7月26日(土) | 第5回学校説明会・オープンキャンパス | 参加者 37人 |
| 8月30日(土) | 第6回学校説明会 | 参加者 34人 |
| 9月5日(土) | 令和8年度入学・社会人推薦入試 | 受験者 13人 |
| 9月20日(金) | 第7回学校説明会 | 参加者 17人 |
| 10月4日(土) | 第8回学校説明会 | 参加者 35人 |
| 10月18日(土) | 令和8年度入学・特別入試 | 受験者 32人 |
| 11月8日(土) | 第9回学校説明会 | 参加者 20人 |
| 11月22日(土) | 令和8年度入学・一般入試Ⅰ期 | 受験者 18人 |
| 令和8年1月31日(土) | 令和8年度入学・一般入試Ⅱ期 | 受験者 7人 |
| 2月15日(日) | 第115回看護師国家試験 | 受験者 62人 |
| 2月21日(土) | 令和8年度入学・一般入試Ⅲ期 | 受験者 1人 |
| 3月2日(月) | 第29回卒業式(3年生62人) | |

(6) 学生募集の取組

- ア. 推薦入試指定校 26 校及び一般校 10 校の高校訪問を行った。
- イ. 受験志望者やその保護者が学校説明会に参加しやすいよう、土曜日に説明会を 9 回開催し、参加者数は 290 人だった。
- ウ. 民間事業者が主催する進路ガイダンスに 2 回参加し、高等学校等に出向き学校説明を行った。
- エ. 本校ホームページによる学校情報や受験案内の発信を行った。

(7) 看護師国家試験対策

- ア. 早期からの看護師国家試験模擬試験を実施した(3年生 10 回・2年生 5 回・1年生 2 回・計 17 回)。
- イ. 看護医療系学校受験対策の専門講師による学内補講を 10 日間実施した。
- ウ. 学力強化が必要な学生を対象に学内教員ゼミを実施するほか、

民間の予備校講座の活用を図った。

エ. 専任教員の国家試験対策力を向上させるため、国家試験対策セミナーを受講した。

11 収益事業(収益事業等)

- (1) 看護専門学校隣接駐車場の管理運営を行った。
- (2) 看護専門学校過去入試問題集の販売を行った。
- (3) 横浜スタジアム医務室の診療受託事業を実施した。横浜スタジアム医務室の診療受託事業にかかる収益性向上のため事務費の増額及び費用の減少について検討・協議した。

12 医療従事者の顕彰、福利厚生の実施(収益事業等)

- (1) 随時、会員の慶弔に協会として対応した。
- (2) 会員の親睦を図る懇親会、新年祝賀会をコロナ禍前の規模に戻して開催した。
- (3) 協会から神奈川県、横浜市に対して表彰の推薦を行った。
- (4) 会員病院が開催する市民公開講座等に対し支援を行った。
(9病院)
- (5) 協会報第75号、第76号を発行した。
- (6) 協会ニュース速報を11回(No.322~No.332)発行した。

13 管理運営その他(法人)

- (1) 会員数(令和8年3月31日現在): 105病院
- (2) 第76回定時総会を令和7年6月25日に開催した。
総会においては、令和6年度の事業報告・決算が審議され承認された。
- (3) 理事会を11回開催し、理事会の結果は速報として会員病院に情報提供してきた。
- (4) 常任理事会を10回開催した。
- (5) 部会等の開催
救急医療、地域医療、教育・研修等にかかる各種部会を必要に応じ、随時開催した。